

A 級最終審査報告

2019.9月30日

報告者：前田 隼大

日時：2019.9月28日(土)16:40～

担当ゲーム：九州大学バスケットボールリーグ(男子1部)
東海大学九州 v s 福岡大学
CC:潮平(沖縄)、U1:野田(福岡)、U2:前田

ゲーム前：事前に潮平氏から提供いただいたPGC資料にて共有事項の確認

- ゲームで目指したいもの
 - ・処置ミスゼロ：表示物の確認
- クルーワーク
 - ・CCメンタリティー、プライマリ、セカンダリーカバレッジ
クロックマネジメント、コミュニケーション、
レフリーディフェンス、コール・ザ・オビアス
- プレーコーリングの映像を用いた確認

担当ゲームチームの情報共有

ゲーム内容：

前半からスピーディーな展開。3Pを要所で決めた東海九州ペースでゲームが進む。初めは野田氏を中心にテンポセット。1Q 7:07でボールが表示物にぶつかり試合が3分程中断。1Q途中にTから潮平氏がセカンダリーコールした際に東海九州ヘッドコーチアピールあり。オフィシャルワーニング。その後も細々とアピールあり。2Qには福岡大学の選手がハリバックする際に東海九州の選手の顔面に手？肘がヒットし負傷退場(ノーコール)。自身はNew Lに向けRun中、ヒット確認できず。前半は40-22 東海九州リード。

後半は開始早々3連続3Pで福岡大学が一気に1桁差。その後は一進一退の攻防。それぞれのプライマリでコールを積み上げる。アウトオブバウンズの訂正などクルーワークに助けられる。4Q 3:00 リバウンド時に選手負傷。フロアに顔面・腰を強打し身動き
取れず負傷退場。自身のCサイドで起こった現象。Cからはどちらもシ

リンダー内のコンタクトであるとノーコール判定。しかしながらインパクトが大きくかつ空中でのコンタクトがイリーガルな部分もありコールすべきだった。最終スコアは79-63で福岡大学の勝利。

ゲーム後：クルーミーティング

最後まで吹き続けなければならないゲームであり伝えきれなかった部分があった。

最後のインパクトをコールすべきだった。

(Lは接触があったものの確認不十分、Tはアングルとれず)

全体を通して

鹿児島インターハイを終え、ブロック国体・九州学生リーグ、県民体育大会とレベルの高いゲームを担当させていただく中で、今年度の自分のテーマでもあった「決断力」を発揮できた40分間でした。初めこそ緊張しましたが、コール・ノーコール、リーガル・イリーガルの判定を今の自分の最大限発揮できたように感じます。その中で細かな点は多々ありましたが、最後の大きなインパクトプレーに悔いが残ります。映像を見直す中でもマージナルなコールが見受けられたので今後修正していきます。

クルーとしてはもっと積極的にアイコンタクト、コミュニケーションが取れたら良かったように感じます。オーバーエリアも何度かありましたが、頼りになる2人の先輩に引っ張っていただき思いっきり吹けました。

2月に31年度のA級候補者に選出していただいてからはほぼ毎月、大会・練習ゲーム等県外に出て多くのレフリーの皆様から様々な指導・助言をいただきながらとにかくレベルの高いゲームを担当することで育てていただきました。大阪まで行ったにも関わらず1ゲームでコールが2回しかなく「判定力・決断力」の無さに腹が立ち情けない姿をみせたこともありました。それでも「決断力」を追求するために県外に出て刺激を頂けたことが今回に審査会に良くも悪くも担当ゲームを任された者として、自分自身を表現することに繋がったように感じます。

引き続き信頼されるレフリー、自身の目標に向け日々研鑽していきます。今回に審査会にあたりお世話になった九州学生リーグの皆様、インストラクターの皆様、原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール

協会の皆様、成長させて下さった全ての皆様へ感謝申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願
い致します。